



令和7年生徒会役員選挙 立会演説会

昨日午後、体育館で生徒会役員選挙の立会演説会が開催されました(下2枚写真)。5人の立候補者、5人の推薦責任者の想いのこもった堂々とした演説に、感心させられると同時に、こんなことができるまでに成長している子どもたちに驚かされました。会場にいたほとんどの教員が同じように受け止めていたのではないかと思います。

加えて、演説を聴いている全校生徒の姿勢、視線も素晴らしかったです。10人の演説は40分近くありましたが、それぞれの想いをしっかり聞いている雰囲気が、体育館全体に広がっていました。



左の写真は、立会演説会後の投票の様子です。光市の選挙管理委員会から投票箱、記載台を借用し、選挙管理委員の立会のもと、公の選挙さながらの投票が行われました。

<2年学年主任談>

立候補者、推薦責任者は、後期中間テストが終了した11月22日から、「何を伝えるべきか。」「どう想いを伝えるか。」について考え続けてきました。先輩や先生に相談したり、悩んだりしながらも、皆、地道に真剣に選挙に向かっていました。一昨日のリハーサルでは、まだ演説原稿を見ることがあった生徒も、昨日は、原稿には目を向けることなく、全員が全校生徒の表情を見ながら、堂々と演説をしました。極度の緊張の中でも立派に演説をなしとげた子どもたちを誇りに思います(^^)。

齋藤幸男先生による浅江中学校特別講演会 開催!!

テーマ 「防災学習」「志教育」

日時 12月12日(木) 1~4校時

1・2校時 1年生に対する防災学習(ワークショップを中心に)

3・4校時 全校生徒対象に志を育む講話



本校の保護者であれば、どなたでも、どの時間帯でも参観いただけます。会場は体育館で、事前の申込等は不要です。駐車場としてグラウンドを開放しますので、どうぞご利用ください。

□311いのちを守る教育研修機構協力研究員、東北大学非常勤講師
□1954年、宮城県塩釜市生まれ
□東北大学文学部卒業
□宮城県の高校教員として37年間奉職。2011年3月11日の東日本大震災発生時に、石巻西高校教頭として避難所運営にあたる。震災当時の石巻西高校は指定避難所ではなかったが、人道的な立場から教職員だけで44日間の避難所運営を行った。体育館が最大約700名の遺体安置所・検視所となるなか、校舎を開放して約400名の地域住民の避難生活を支援。その後、2012年に同校校長に就任。現職時代からの震災の教訓を語り継ぐ活動を始め、2015年に退職後の今も、防災教育を切り口とした命の教育の大切さを広げるために全国を歩いている。